

令和2年度 第1回モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会

技術セミナー(Web配信) 『電動化とその要素技術』



※申込後、開催日前日までにメールでセミナーのURLをご案内します。
インターネット環境があれば、URLをクリックするだけで、パソコンやスマートフォン等から参加(視聴)いただけます。
※ライブ配信となります。講演中にチャットでの質問を受け付けます。
※ZOOMが出力する映像や音声の録画、撮影、録音は禁止します。
※当日の資料は事前にメール配信するアドレスからダウンロードしていただきます。

講演1

「電動化環境における高周波回路技術」 -通信やセンシングに求められるハーネスの技術-

神奈川工科大学 自動車システム開発工学科 電動システム研究室 教授 クライソン トロンナムチャイ氏

<概要>

自動車の電動化が拡大する状況で、高電圧回路と、通信や自動運転のための高周波回路の共存が大きな課題となっています。そのため、設計段階でシステムとして成立する回路やハーネス仕様の決定が強く求められています。特に走行用モータ・インバータシステムから発する大きな電磁ノイズがレーダや車内ネットワークに影響を与えないための効果的なシールド技術について講演を行います。

<プロフィール>

タイ・バンコク出身。日産自動車(株)に33年間勤め、2018年8月に定年退職。2018年9月に神奈川工科大学の教授に就任。これまでパワエレやセンサなどの自動車用半導体デバイス、回路、制御全般、モータ・インバータ、EMC、イメージセンサ、人工網膜、画像処理、AIなどの研究開発を経験。著書に「ワイヤレス給電技術入門」(日刊工業新聞社、2017年)、「トコトコやさしい自動運転の本」(日刊工業新聞社、2018年)。現在に至る。

講演2

「世界のバーチャルエンジニアリング実態と日本の課題」 -IT/Digital技術「駆使」の開発とものづくり ポストコロナのリモートワーク化を見据えて

東京電機大学 非常勤講師 内田 孝尚 氏

<概要>

世界的に進む設計と物づくりの融合が今後の開発、製造を大きく変える。そのキーとなるテクノロジーがバーチャルエンジニアリングであるが、多様な企業が参入できることを前提とした世界のスタンダードに対して、いま日本は遅れをとっている。特に部品のモジュール化により達成基準が明確になれば、リモートワーク化が容易になる。実物の代わりにバーチャルモデルが商品として扱うビジネスモデルとしてのバーチャルエンジニアリングの世界の実状と今後対処すべき日本企業の課題について講演を行います。

<プロフィール>

1979年(株)本田技術研究所入社。2018年同社退社。
現在、雑誌・書籍などマスメディアや、日本機械学会等のセミナーを通じて設計・開発・ものづくりに関する評論活動に従事。MSTC主催のものづくり技術戦略Map検討委員会委員(2010年)、ものづくり日本の国際競争力強化戦略検討委員会委員(2011年)、機械学会“ひらめきを具現化するSystems Design”研究会設立(2014年)及び幹事を歴任。博士(工学)、日本機械学会フェロー。

日時

令和2年9月9日(水) 13:30~15:30

参加費

自動車産業部会会員：無料
公社会員：1,000円
上記以外(一般)：2,000円

申込締切日

自動車産業部会会員は9月1日まで。
公社会員及び一般の方は8月21日まで。事前に参加費を振り込んでいただき、入金確認後にセミナーのURLをご案内します。

問合せ

(公財)埼玉県産業振興公社 次世代自動車支援センター埼玉 IoT・技術支援グループ
〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 TEL 048-621-7051 FAX 048-857-3921
URL <https://www.saitama-j.or.jp/jidosha/>

申込先

ホームページからお申込みできます。 <https://www.saitama-j.or.jp/jidosha-20200909jidosha/>